

パートナー企業とのサステナビリティダイアログ

NRIの環境目標に関する協力の お願い

株式会社 野村総合研究所

サステナビリティ推進室長 **本田 健司**

2021年1月21日

NRI

Share the Next Values!



1 世界の環境問題について

2 NRIグループの環境目標

3 パートナー企業殿へのお願い

1. 世界の環境問題について

気候変動問題

■ 温暖化が進むと、どのような問題が発生するのか。



台風の大型化



氷河・氷床の溶解



山火事

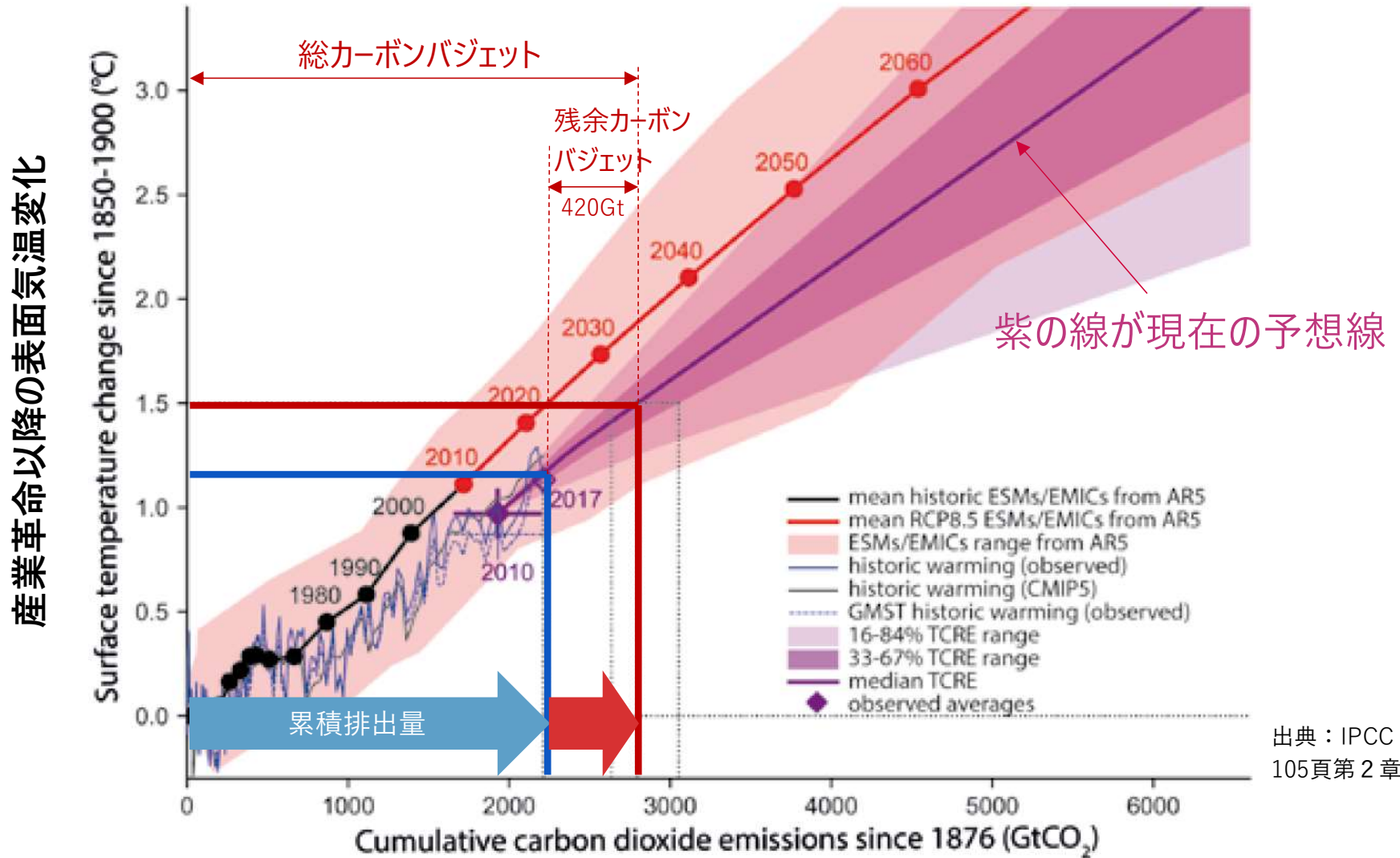


干ばつ

IPCC 1.5°C特別報告書

■ CO2累積排出量と地球表面の気温変化の関係

- IPCC1.5°C特別報告書では、CO2の累積排出量とそれに伴う地球の表面気温上昇の関係が示された。



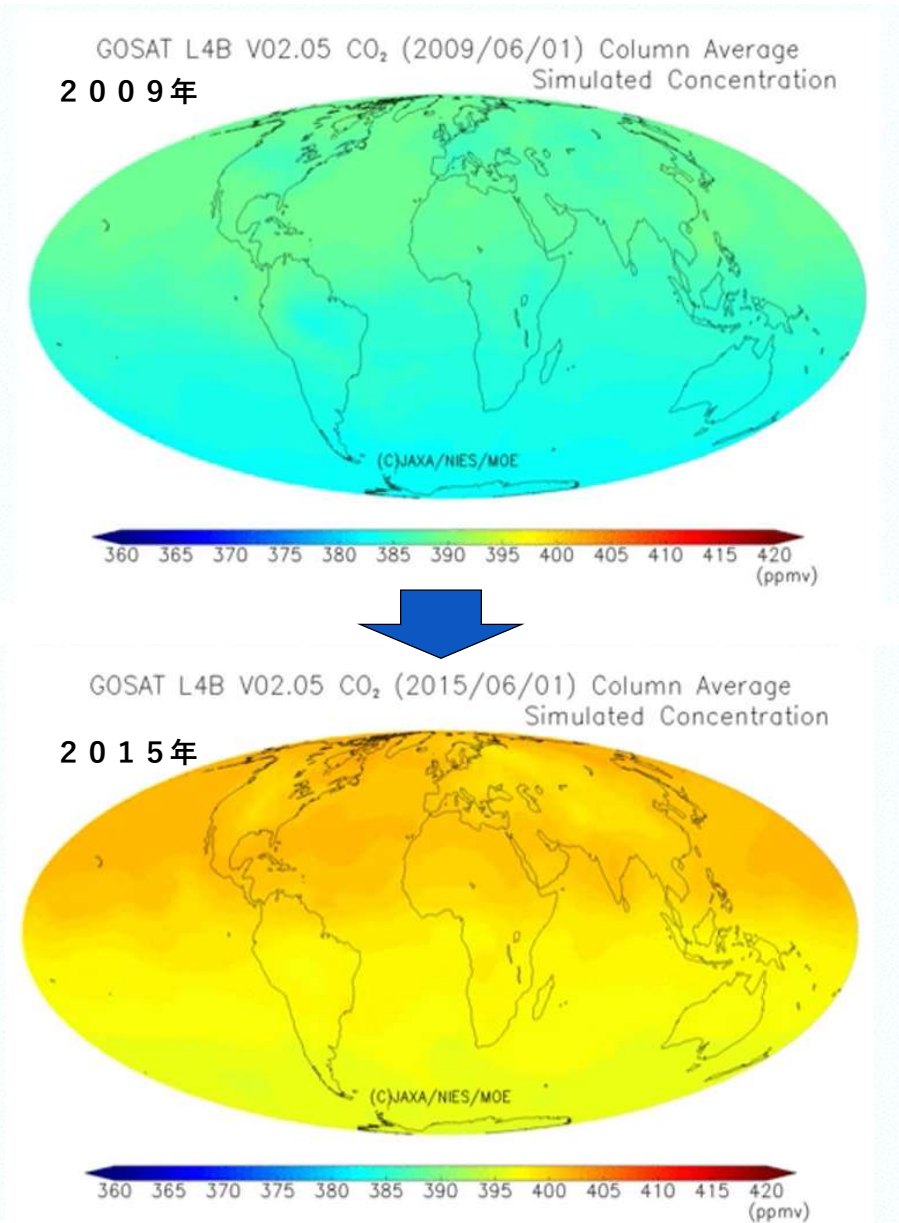
出典：IPCC SR1.5
105頁第2章図2.3

1876年以降のCO2累積排出量

1. 世界の環境問題について

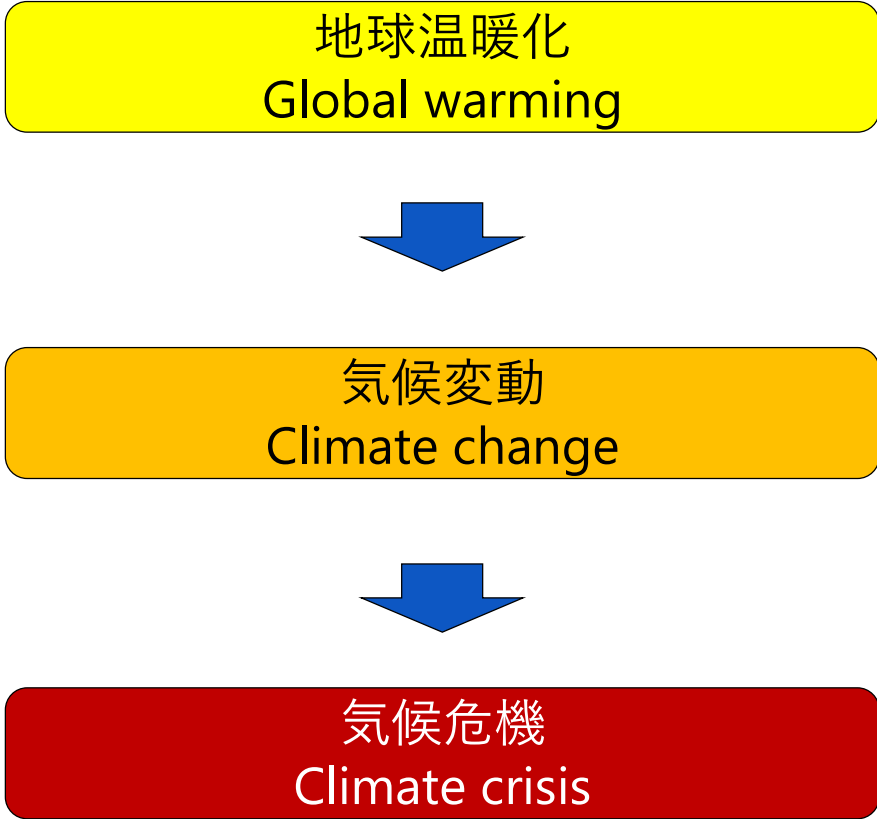
温室効果ガス観測衛星「いぶき」による観測結果と気候変動問題の名前の変化

■ 温室効果ガス観測衛星による地球のCO2濃度



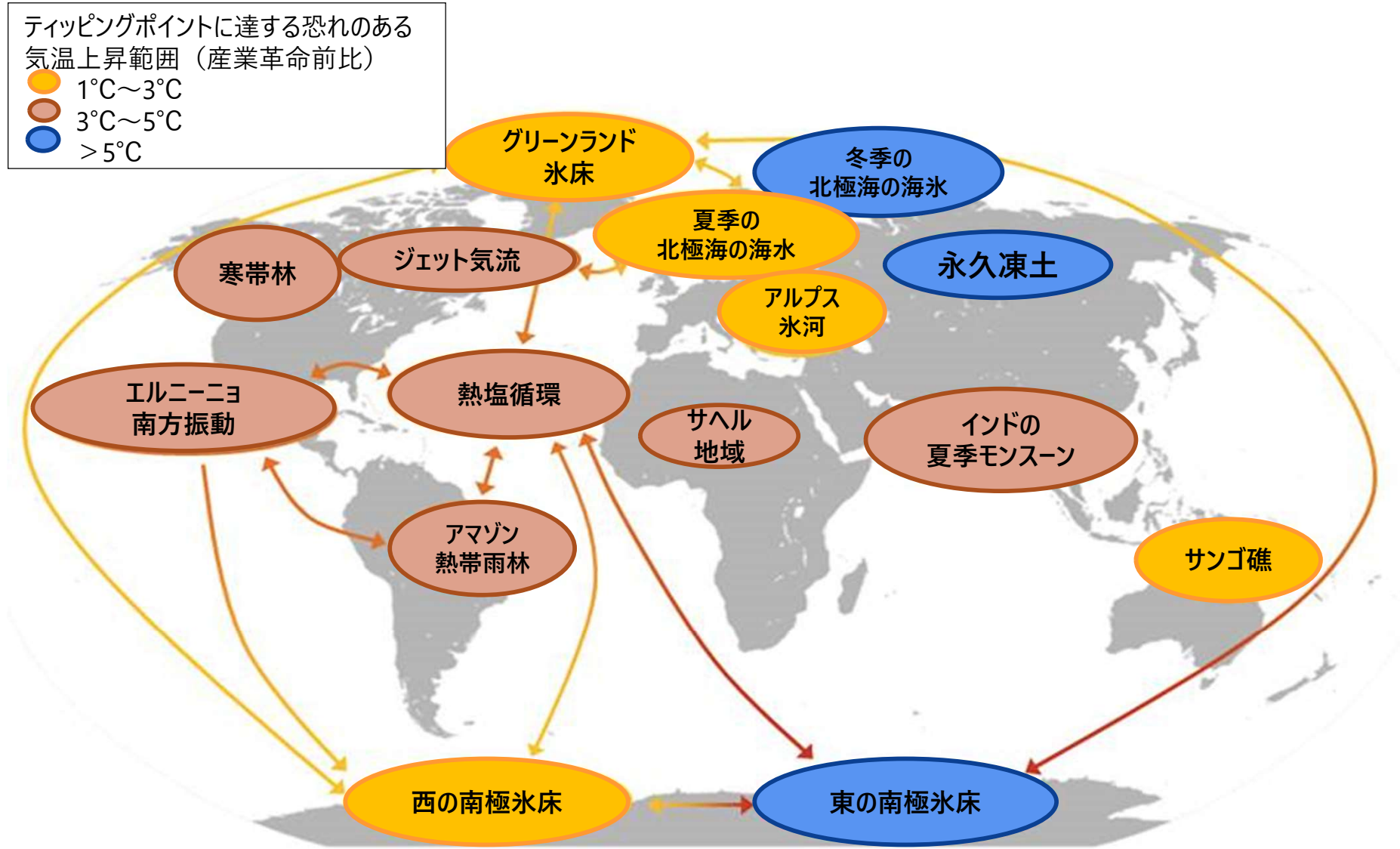
■ 気候変動問題の名前の変化

世界では、気候変動問題の名称が、その深刻さを反映して変化している。



1. 世界の環境問題について

ホットハウス・アース (Hothouse Earth)



出典：Stockholm Resilience Center [Planet at risk of heading towards "Hothouse Earth" state]

<https://www.stockholmresilience.org/research/research-news/2018-08-06-planet-at-risk-of-heading-towards-hothouse-earth-state.html>

1

世界の環境問題について

2

NRIグループの環境目標

3

パートナー企業殿へのお願い

環境目標のポイント

■環境目標の4つのポイント

国際的な評価・認証機関のSBT（Science Based Targets）に認められる環境目標とすべく、下記の4つの目標を設定しています。

① 国際基準定量目標

- ・ パリ協定の「気温上昇を2°C未満に抑えること」に沿った目標

② データセンター再エネ利用率目標

- ・ データセンター事業者としての再生可能エネルギーによる電力利用率目標

③ サプライチェーン目標

- ・ サプライチェーン全体のCO2排出量を意識した目標

④ 出張・通勤に関する目標

- ・ 出張・通勤に関するCO2排出量の削減の目標

SBT(Science Based Targets)：

COP21に呼応して、2015年に国際的な4つの環境機関（CDP、WWF、WRI、国連グローバルコンパクト）が共同で設立した機関（イニシアチブ）

世界の平均気温の上昇を「2°C未満」に抑えるため、企業の科学的根拠に基づく温室効果ガス排出削減目標の設定を推進する。企業は目標と根拠を登録し審査を受ける。

2. NRIグループの環境目標

環境目標

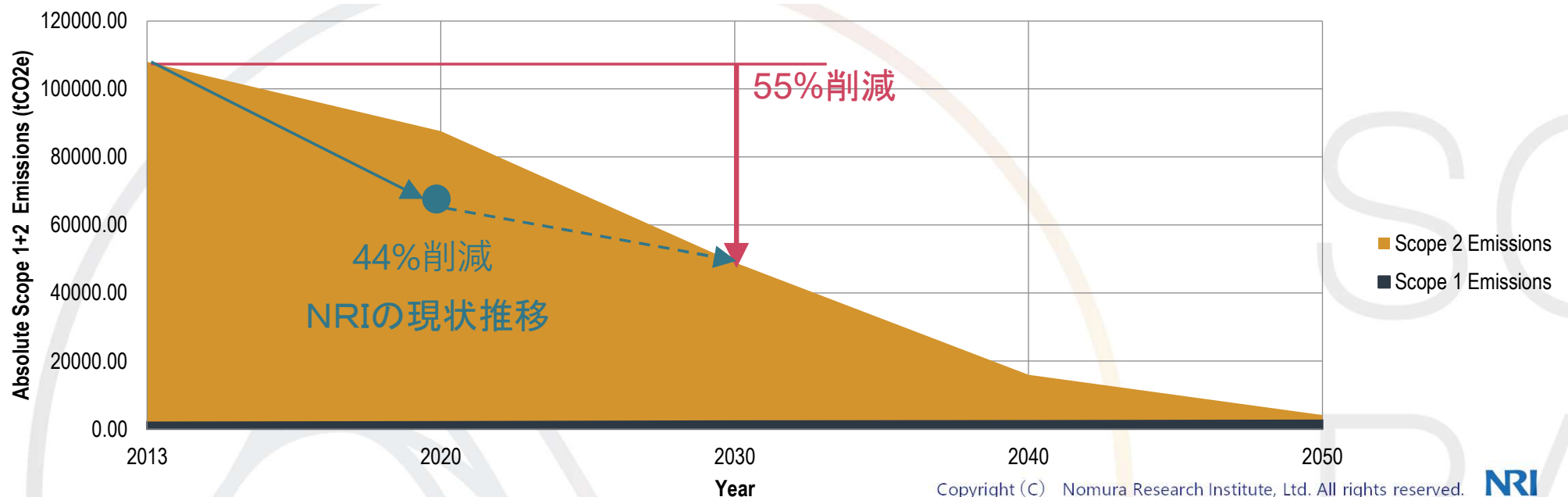
① 国際基準定量目標：CO2排出量を55%削減

対象範囲	：国内・海外グループ企業を含めた全拠点（連結ベース）
対象数値	：CO2排出量（Scope1&2：自社事業に関する排出量）
基準年度	：2013年度
目標年度・削減率	：2030年度 55%

② データセンターの再生エネ率目標：36%

対象範囲	：データセンター
対象数値	：再生可能エネルギー利用率
目標年度・利用率	：2030年度 36%

SBTが推奨するSDAツールによるScope1+2削減率試算



2. NRIグループの環境目標

環境目標

③ サプライチェーンに関する目標

目標	: 取引額の70%を占めるサプライヤーにSBT基準の環境目標を設定して頂く
関連数値	: CO2排出量 (Scope3カテゴリ1・2・11)
目標年度	: 2023年度

④ 出張・通勤に関するCO2排出量の削減：25%

対象範囲	: 国内・海外グループ企業を含めた全拠点 (連結ベース)
対象数値	: CO2排出量 (Scope3カテゴリ5・6：出張・通勤に関する排出量)
目標年度・削減率	: 2030年度 25%

● NRIの環境目標はSBTの認定を取得

2018年9月に、この環境目標についてSBTからの認定を取得しています。



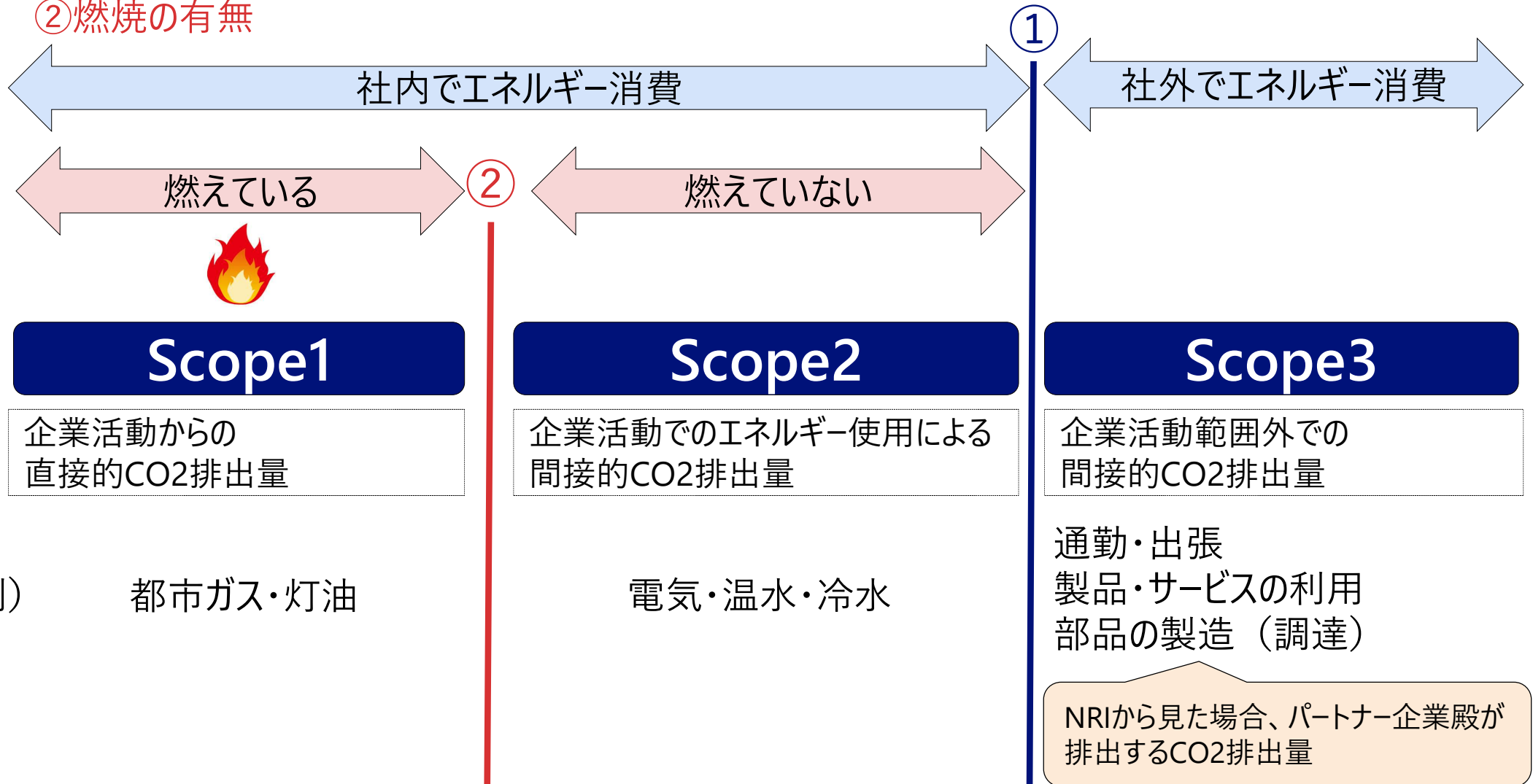
2. NRIグループの環境目標

(参考) CO2排出量のScope1、Scope2、Scope3とは

■Scope1、Scope2、Scope3の定義を理解するポイント

①エネルギー消費場所の違い

②燃焼の有無



2. NRIグループの環境目標

高まる世界的な気候変動への危機感に対応して、環境目標を2°Cから1.5°C目標へシフト

- NRIグループは、2018年9月に環境目標を改定し、SBT2°C目標の認証を取得
- 2020年5月に「Business Ambition for 1.5°C」に署名し、SBT1.5°C目標の認定を取得予定

SBT1.5°C認定取得に向けた修正点

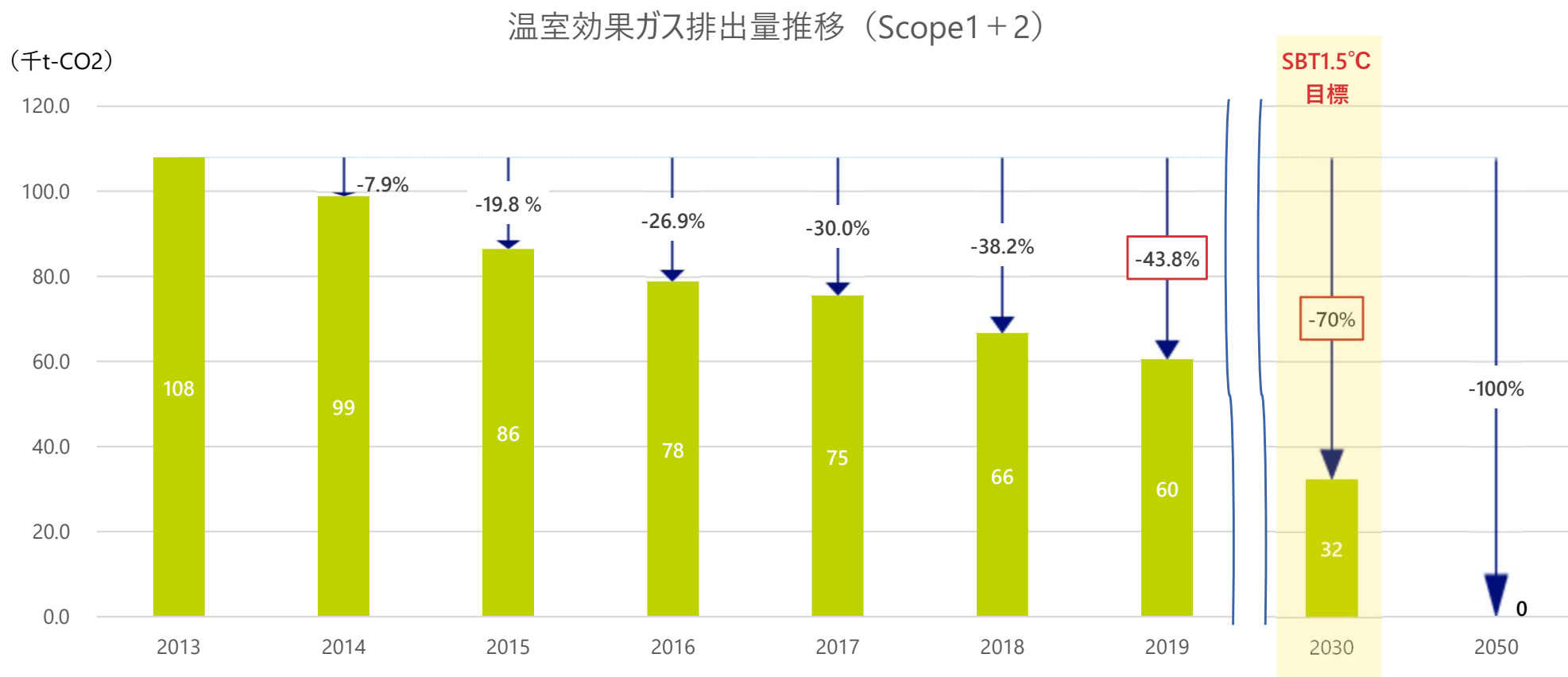
区分	2030年度目標*		2050年度目標
	SBT 2°C目標（現行）	SBT 1.5°C目標（予定）	
Scope1+2	NRIグループの 温室効果ガス排出量 55%削減 （2013年度比）	NRIグループの 温室効果ガス排出量 70%削減 （2013年度比）	NRIグループの 温室効果ガス排出ゼロ 再生可能エネルギー利用率 100%
	データセンターの 再生エネルギー利用率 36%	データセンターの 再生エネルギー利用率 67%	
区分	2023年度目標		
Scope3	✓ NRIグループのサプライヤーの 70%以上 がSBT水準の環境目標を設定（対象：Scope3のカテゴリ1、2、11）		
	2030年度目標		
	✓ 従業員の出張及び通勤に関する排出量を25%削減する（対象：Scope3のカテゴリ6、7）		

* SBTの規定で目標年は提出時点から最短5年、最長15年以内に設定する必要がある。 Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

2. NRIグループの環境目標

温室効果ガス排出量削減目標の進捗

- 2030年度の温室効果ガス排出量70%削減目標に対して、2019年度実績で約44%の削減
- 現状の省エネ策では約47%削減が限界、残りの23%については再生可能エネルギーの調達が必要



1

世界の環境問題について

2

NRIグループの環境目標

3

パートナー企業殿へのお願い

3. パートナー企業へのお願い

環境目標に関するパートナー企業殿へのお願い

- 各パートナー企業殿はSBT基準に沿って**環境目標を2023年度までに設定してください。**

以下に大まかな手順を示します。

1. CO2排出量の測定

- 自社のCO2排出量を測定されていないパートナー企業殿は、オフィスの電気使用量等からCO2排出量を算出してください。

2. 環境目標（CO2排出量削減目標）の策定

- SBT基準に沿った環境目標を機関決定してください。
- SBT基準に沿った環境目標を設定するには下記の項目を定める必要があります。
 - ① 基準年（排出量算定データが利用可能な直近年、あるいは目標が提出された年）
 - ② 目標年（目標年は公式提出時点から最短5年、最長15年以内）
 - ③ CO2排出量の削減率（基準年の排出量を基準とした目標年での削減率）
 - ①②の情報と、「部門」、「基準年における排出量実績」、及び「基準年における施設の延床面積（㎡）」をSBTの目標設定ツール*に入力すると最低限必要な削減率が算出されます。

* 環境省日本語サイト：https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/intr_trends.html#no07

* SBT英語サイト：<https://sciencebasedtargets.org/step-by-step-process#develop-a-target>

3. 環境目標の公表

- 自社のHPや統合レポート等に策定した環境目標を掲載してください。

3. パートナー企業へのお願い

問い合わせ先

- 環境目標の策定等に関して、分からない点等がございましたら、野村総合研究所サステナビリティ推進室宛に遠慮なくお問い合わせください。

野村総合研究所 サステナビリティ推進室環境担当

担当連絡先：sbt@nri.co.jp

- パートナー企業殿と一体となって、深刻化する気候変動問題と一緒に取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

The text is framed by two decorative swooshes. The top swoosh is a gradient bar transitioning from blue on the left to red on the right. The bottom swoosh is a solid blue bar.

Share the Next Values!